

平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	公共獣医事に係る臨床教育の実施体制構築事業		担当部局庁	高等教育局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度・平成28年度		担当課室	専門教育課		専門教育課長 内藤 敏也		
会計区分	一般会計		政策・施策名	個性が輝く高等教育の振興 IV-1 大学等における教育研究の質の向上				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「公共獣医事を担う人材の養成」を強化するため、獣医系大学に関する国際的な要請を踏まえ、公共獣医事を担う外部機関(保健所、家畜衛生保健所、と畜場等)の協力を得て臨床実習の教育体制の充実・強化を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「公共獣医事を担う人材の養成」を強化するため、公共獣医事を担う保健所・家畜保健衛生所・と畜場等の外部機関と連携して行う、実践的な臨床実習の教育体制の強化・充実を図るとともに、臨床実習先を開拓する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算					31	
		繰越し等						
		計					31	
	執行額							
	執行率 (%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (26年度)
	実習プログラムに参加する学生数	成果実績	人	-	-	-	120	
		達成度	%	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	採択件数	活動実績 (当初見込み)	件	-	-	-	※26年度の活動見込みである	
					-	(-)	(-)	(2)
単位当たりコスト	15,000(千円/件)		算出根拠	単位当たりコスト=平成26年度支出予定額(30,000千円)÷採択件数(2件)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	産学連携教育推進委託費	-	30百万円					
	産学連携教育推進事務費	-	1百万円					
計	-	31百万円						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
必要投入の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国境を越える家畜感染症、人獣共通感染症等の国際的な防疫に係る人材育成を担う獣医学教育の強化はますます重要な課題となっており、OIE(国際獣疫事務局)は近年、公共獣医事を担う人材の養成を強化することを各国に要請し、実践的な体験を通じて科目の内容の理解増進を図るよう求めている。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	経費の執行に関しては、事業年度毎に委託先から提出される事業報告書等において、支出先・用途を把握し、委託費の使用状況や事業目的との整合性について確認を行うこととしている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	支出先の選定に当たっては、公募により調査研究テーマを最も効果的、効率的に実施可能な者を選び、実効性の高い手段となるようにする。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、公共獣医事を担う外部機関(保健所、家畜衛生保健所、と畜場等)の協力を得て臨床実習の強化を図り、獣医学教育に関する国際的な要請に応えるものである。 ・本事業の成果は、獣医学教育関係への反映など、大学改革の推進に向けて活用することとしている。 ・経費の執行に関しては、支出先・用途を把握し、委託費の使用状況や事業目的との整合性について確認を行うこととしている。 					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
本事業は、成果目標及び活動指標も立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることなどから、当省の事業として実施することが適切かつ必要と認められる。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記入したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省
31百万円

・諸謝金 0.2百万円
・職員旅費 0.2百万円
・委員等旅費 0.2百万円
・庁費 0.1百万円

を含む

公共獣医事を担う人材の養成を強化するため、臨床実習先の開拓を委託し、成果を獣医学教育関係へ反映するとともに、成果を広く公表。

※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない。



【公募・委託】

A.大学・独立行政法人等(2件)
30百万円

公共獣医事を担う人材の養成を強化するため、公共獣医事を担う外部機関の協力を得て臨床実習の教育体制の充実・強化を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.大学・独立行政法人等(2件)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
産学連携教育推進委託費	公共獣医事に係る臨床教育の実施体制構築事業	30			
計		30	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0